

令和4年度 建設業デジタル化促進モデル事業現場見学会（有限会社 岡本建設）

<デジタル化促進モデル事業の実施内容>

導入機器：3次元設計データ作成ソフト、自動追尾型TS

<参加者>

10名（建設会社：4社6名、県職員：4名）

<工事概要>

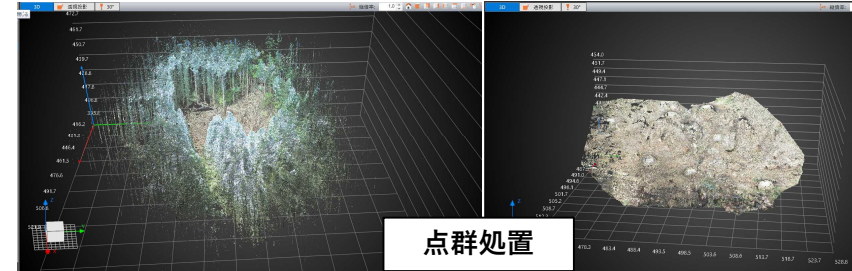
工事名：災関治山第905号 三ツ石災害関連緊急治山工事

請負代金：74,074,000円、工期：令和6年3月1日～令和7年2月28日

工事内容：溪間安定面積 0.01ha

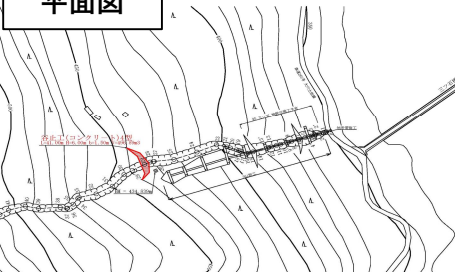
谷止工1基（生コン）496.9m³

仮設工 1式



点群処置

平面図



3次元設計データ作成



自動追尾型TS



プロセス	使用機械等	従来	ICT	効果	評価
3次元起工測量	レーザースキャナ（内製化） TREND-POINT（今回導入） EX=TREDN武蔵 3次元設計データ作成オプション （今回導入）	3人・日	1人・日	-70%	起工測量を少人数で行う事ができました。さらに従来の方法より時間を短縮する事ができました。
3次元設計データ	EX=TREDN武蔵 3次元設計データ作成オプション （今回導入）	1人・日	1人・日	0%	本現場は折れ点がある為に設計データの作成に時間がかかりました。今後、慣れにより作業時間を短縮する事ができます。設計データを活用する事でその他の作業（測量等）効率がよくなり、時間を短縮する事ができました。
ICT施工	杭ナビ・FIELD-TERRACE （今回導入）	1人・日	0.5人・日	-50%	掘削作業を少人数で行う事ができました。掘削中に上流部が崩壊し再度切直しが必要となりましたが、丁張の設置する時間を短縮する事が出来ました。
3次元出来形管理	杭ナビ・FIELD-TERRACE （今回導入）	1人・日	0.5人・日	-50%	出来形測量を少人数で行う事ができました。さらに従来の方法より時間を短縮する事ができました。
合計		6人・日	3人・日	-50%	

施工者のコメント

これまで従来の方法の測量では労力、時間を多く費やしてきました。ICT測量機器、ソフトウェアを使用する事で労力、時間を大幅に削減、短縮する事ができました。

ICT施工の最大の利点は時間の短縮による生産性の向上です。

今後もICT測量機器の活用する工事があれば積極的に活用しようと考えています。

発注者のコメント

3次元設計データ作成ソフト、自動追尾型TSの導入により、人員の削減等により効率化を実感できている。さらにレーザースキャナについても導入し、3次元起工測量についても内製化できている、更なる効率化につながっている。今後もICT活用工事を積極的に実施していただき、更なる生産性向上を目指してもらいたい。